

令和4年2月1日（火）

15:00～17:00

しまだ楽習センター第3楽習室

【出席者】

社会教育委員：田代保廣委員、萩原淑恵委員、八木 博委員、鈴木美香委員、  
西田正鋭委員、大石絵美委員

社会教育課：小林社会教育課長、伊藤課長補佐兼社会教育係長

【会議の内容】

1 開会（事務局：伊藤）

2 議長あいさつ（田代議長）

- ・10月には第5波が治まり、このままいくのかな、国民の7割以上が2回接種したから正常な社会に戻るのかなという気持ちでいたが、オミクロン株の拡大が続き、今、このような状態になってしまい残念である。いろいろな会議や研修が延期や中止、あるいはオンラインに変更されている。高齢者の仲間に入っているので、3回目のワクチン接種の予約を行った。3月、4月頃までには収まってくれることを期待している。
- ・家庭教育の在り方の啓発については、来年度はぜひ実施していきたい。校長会等をお願いに出向き、今、来年度の計画を立てている頃だと思うので、その中に入れてもらえればありがたい。皆さんも学校等でつながりがあるところに確認やお願いをしてもらえれば。
- ・「人生100年時代」60歳で退職して30～40年人生が続く。60歳からどうするかというときに、反省というか自分を戒めなければと思うが、過去に縛られてはいけない、過去の成功体験を引きずってはいけない、そういう生き方をしたら人生は失敗するという話しである。
- ・「Z世代」という言葉を目にすることが多い。私が取っている機関紙に特集があった。Z世代は12～26歳ぐらい、SNSとスマホ。X世代は団塊ジュニアを中心とした世代で、テレビで育った。Y世代はミレニアル世代、27～42歳で、パソコンと携帯電話で育った。Z世代はソーシャルネイティブ、物心ついたときからソーシャル社会に入っている。特徴としては、お互いの価値観を尊重する、多様性を重視する、無理強いをしない、ハラスメントをしない、社会への関心が非常に高いなどである。Z世代は全人口の1/4を占めている、これからを背負っていく人達、頼もしいと思う。この世代には強要することなく伝えて、彼らの声に耳を傾け接していく必要がある、と特集にあった。

3 課長あいさつ（小林課長）

- ・議長のお話しにもあったとおり、オミクロン株の感染が広がってきている。成人式については、感染拡大前に開催し、“はたち”の子達が集まることが

できて良かった。社会教育委員の皆様にはたくさんのご協力をいただきありがとうございます。私自身は体調を崩し、自宅でオンライン配信を見させていただいた。本日配布した「春風秋霜」にもあるが、お酒の飲み過ぎで救急車搬送された成人もいたが、落ち着いた会だったと思う。本日も議題が二つあるが、皆様からたくさんご意見をいただければと思う。よろしくお願ひします。

#### 4 報 告

##### (1) 島田市成人式について

伊藤より説明を行った。

- ・令和4年成人式の出席状況について報告した。合計で755人の参加があり、招待状を発送した対象者1,043人に対する出席率は、72.4%。出席率は、2年前に比べ、0.4ポイント減少した。
- ・来年については、成人年齢の引き下げにより、成人式という名称ではなく、はたちの集いとして開催する。対象者はこれまでの成人式と同じく、20歳になる方となる。

##### □質疑・意見

- Q 全体の出席率は2年前とほぼ一緒である。初倉中や川根中など、遠いところが低い傾向なのかな。
- A 年によって違うと思う。川根は平均で60%ほど、良い時でももう少し上ではないか。全体の人数が少ないので、申し合わせて来る来ないを決めているのかもしれない。午前中に川根だけで成人式と同様のものを行っているの、その影響があるのかもしれない。
- Q 今年は2階席を開放したか。司会者が「2階席の方も御起立ください」と言ったが、いないような感じだった。
- A 成人への介助としての付き添いの方はいたのではないか。今年は感染対策で保護者の入場を制限したが、来年以降保護者等入れる場合にはアナウンスも引き続き実施していきたい。
- Q ボランティアさんで、受付など、式典前にはほぼ業務が終了してしまった方は、2階席で式典をみることができなくて終わるまで待っているという状況があった。来年以降、2階席が開放されるなら、式典をみてもらったり、業務が終わった人で用事がある人は帰ることも選択肢にあるような形にしてもらえるとありがたい。市の考えもあると思うので、所感としてお話しした。
- A ご意見ありがとうございます。今回は2回に分けて実施したこともあり、通しで活動していただいた方もいた。担当には伝え、改善できるところはしていきたい。

#### 5 議題

##### (1) 報告書「家庭教育の在り方」プレゼン及び配布資料の確認

##### ○協議

振り返りとして、本年度協議した会議当日の質疑、意見等をまとめた資料1

ー 7 を基に伊藤から説明を行った。

□ 質疑・意見

- ・ 配布資料は報告書に基づき詳しく載せているが、パワポ資料は配布資料を要約して見出し部分を載せている。説明者はパワポ資料を基に配布資料の内容を口頭で説明する感じになる。
  - ・ パワポ資料と配布資料の見出しの文言が違うので、統一したほうがいいのでは。パワポ資料の「～しましょう」の声掛けの形のほうが柔らかく捉えてもらえていいのでは。
  - ・ パワポ資料は言葉が少なくなるとても見やすくなったし、説明もしやすいと思う。例えば、小学生のところで、「家族会議を開く」とあるが、保護者も理想からすればそれができればいいのは判っているけど難しいと。どうすればいいというときに、こうしたらどうと説明者の言葉で伝えるのがいいと思うので、パワポ資料の言葉は少ない方がいいと思う。極端なことをいうと、もっと省いてもいいと思う。「～しましょう」も無くてもいい。説明により、書いていないことを伝える。
  - ・ 配布資料の見出し部分の「～しましょう」等をやめて「～準備を」等で止めているのは、その下で説明しているから。
  - ・ 両方の資料の菱形の見出しは同じほうがいいのでは。保護者にとってどこを見たらいいか判りやすいかな。どれもできるだけ短い見出しにできればいいが全部は難しい。
  - ・ その時に配布資料は手に持っている想定なら、一緒のほうがいいのでは。
  - ・ 以前の会議で配布資料を渡していると、そちらをみて説明に身が入らないという意見もあった。持っていない想定でどうするかということだと思うが。
  - ・ パワポ資料で出てきた見出し、キーワードを拾うとなったときに、見やすい方法があるといいなと思う。
  - ・ 言葉のインパクトからすると短い方が強い。
  - ・ **【確認した事項】** パワポ資料は説明時に配布はしないで、スクリーンのパワポ資料を見てもらう。配布資料を説明後配布する流れ。
  - ・ 一番判りやすいのは、図とか写真とかがふんだんにあるのが効果的で言葉は添えるぐらいでいいと思うので、言葉はできるだけ短い方がいい。「～しましょう」等は確かに優しさが出ると思うが。どちらでいいと思う。
  - ・ 判っているよとならないような伝え方が大事では。
  - ・ 配布資料を配布しておけば、メモは取りやすいかもしれない。見てしまうかもしれないが。
  - ・ 見てもいいのでは。追いながら聞く人もいるのではないか。
  - ・ 言葉は端的に、お話しする言葉は優しくとできればいいのかな。
- このままでやってみて、説明を聞いた方々の反応をみて判断することになった。
- ・ デジタル化も視野に入れなければいけないのではと思い提案する。  
島田市は新たな総合計画の中で、「未来につなぐ3大計画」というものを定め、その一つに“デジタル化”がある。誰もがデジタル技術の恩恵を受ける、そのような構築を謳っている。それに呼応する必要があるのでは。ま

た、2024年からは学校では教科書が半分が紙媒体、半分がデジタルになる時代。今、面と向かって伝えることができないので、良いものを作っても伝える場がない。そのような意味でも島商や島工の生徒達の力を借りて、率先してデジタル化をしたらいかがか。

- ・具体的にはどのようなことをするイメージか。
  - ・これをスマホで見られるような、アクセスできるような取り組み。
- 今後、どんなことができるか考えていく。

## (2) 令和4年度中部地区社会教育委員連絡協議会合同研修会について

伊藤から資料2-1を基に説明した。

- 研修会の講演会の内容について、案1~3の内容を説明し、協議の結果、案2で講師等の調整を図っていくことになった。中部地区の役員会に日程等報告する。

### □主な質疑・意見

- ・川越人足の職が無くなり、牧之原茶園を開墾したという話もいいのでは。
- ・大井川の瀬替えの話はいつの時代の話しか。(WEBで確認し、1590年辺り)
- ・2案が社会教育委員らしくない講演でもあるし、興味が湧くのでは。
- ・移動や雨天時のことを考えたら2案がいいのでは。
- ・地元の歴史に詳しい方に講師をお願いしたらどうか。
- ・博物館の学芸員に相談する。

## 5 その他

- ・次回は来年度4月に実施する方向で了承を得た。
- ・来年度どんな活動をするかもあるが、諮問事項等出ることがあるか。  
→何かあればご相談させていただく。

## 6 閉会(萩原副議長)

- ・日中に開催したが、どうだったでしょうか。今年度はこれで終了のようですので、1年間お疲れ様でした。